

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市白根斎場				
管理者名	株式会社 宮本工業所	指定期間	平成23年4月1日	～	平成28年3月31日
担当課	南区役所区民生活課				
所在地	新潟市南区鍋湯638番地1				
根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律				
設置条例	新潟市斎場条例				
施設概要	敷地面積：9,215.22㎡（※建物敷地面積：1,837.64㎡） 延床面積：1,806.84㎡ 建物構造：鉄筋コンクリート造 一部2階建 火葬炉設備：火葬炉4基（使用燃料：都市ガス） 主な諸室：エントランスホール、告別室（2室）、炉前ホール、収骨室（2室）、待合ロビー、待合室（和室2室、洋室2室）、事務室ほか				

## 施設設置目的

市民の宗教的感情に適合し、かつ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬業務などが支障なく行われることを目的に設置する。

## 管理・運営に関する基本理念、方針等

斎場にふさわしいきめ細やかなサービスの提供と効率的な管理運営を行う。

【斎場の管理に関する基本的な考え方】

- (1) 「墓地、埋葬等に関する法律」その他関係法令を遵守し、その趣旨を十分に理解した上で管理運営を行う。
- (2) 利用者の心情を配慮し、サービスの提供に努める。
- (3) 平等利用を確保する。
- (4) 管理経費の縮減を図る。
- (5) 事業計画に沿った管理運営を安定して行う。
- (6) 個人情報の適切な管理を行う。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者の満足度	ご意見箱の設置と活用 (意見に対する速やかな対応)	ご意見箱やアンケートなどの一般利用者の意見に適切に対応	A	一般からのご意見に速やかかつ適切に対応している。
財 務	経費の縮減	期中、期末での支出内容の検討及び見直しの実施	実施した	B	
	経費の縮減	節電・節水等の取り組み	取り組んだ	B	
業 務	平等利用の確保	不平等な取扱等の発言・行動 0件	0件	A	不平等な取り扱いなどの発言・行動がないように全職員が日々慎重かつ丁寧に対応している。
	安全確保体制の確立	防災訓練年3回実施	年3回実施	A	消火・避難誘導・通報についての訓練を行っており、有事に際の対応を十分把握している。
	事故防止と事故発生時の適切な対応	事故発生件数 0件	0件	A	事故なく業務を遂行している。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	定める事項を遵守	A	定める事項を遵守
	個人情報の適切な管理	流出・紛失等の事故件数 0件	0件	A	個人情報については専用の封筒に入れたうえで、確実に手渡しで引き継ぐことを徹底している。
人 材	職員の資質・技能の向上	計画的な研修等の実施	年6回実施	A	高い頻度で研修を実施しており、業務に必要な技能や資質向上に積極的に取り組んでいる。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	法令を遵守	B	

**【評価基準】**

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

故人を葬送する場に相応しい施設であるよう、施設の維持管理を適切に実施しました。特に清掃及び植栽管理に注力し、ご利用の方々が不快な思いを抱くことのないよう努めました。

職員の資質、技能向上を図るため、所内研修の他に、新潟市新津斎場と連携した技術研修、緊急対応研修を実施しました。更に新潟県内弊社指定管理斎場と合同し責任者ミーティング(毎月)を行いました。施設管理の手法や利用者からの問い合わせへの対応事例などを共有することで、管理面、接遇面でのスキルアップに効果がありました。この近隣斎場との連携強化により、職員の病気や冠婚葬祭などでの欠勤時に、他斎場から職員を応援派遣するなどして、斎場業務を滞りなく遂行することが出来ました。

次年度以降は、利用者の更なる満足度アップを目指し、アンケートの回収数を増やすべく他斎場での実績を基に取り組

**所管課による総合評価(所見)**

利用者の求めるものが多様化している中、事業計画書及び業務仕様書に基づき、指定管理者が持つ豊富な経験とノウハウを生かした丁寧な火葬業務がされている。職員の資質・技能向上のため高い頻度で研修を実施しており、近隣火葬場との連携も密になっている。今後も技能向上と、利用者のさらなる満足度アップのために取り組んでもらいたい。